

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会（資料配付）
2. 国土交通記者会（資料配布）
3. 国土交通省建設専門紙記者会（資料配布）

日時：令和3年10月22日 14時同時配付



令和3年10月22日
国立研究開発法人土木研究所

オープンイノベーションによる自律施工研究の促進 ～自律施工デモンストレーションの実施について～

11月24日～26日、国立研究開発法人 土木研究所（理事長 西川和廣、茨城県つくば市）は、同研究所および国土技術政策総合研究所内に整備した建設 DX 実験フィールドにおきまして、建設自律施工のデモンストレーションを行います。土木研究所にて開発中である「自律施工技術基盤（以下、プラットフォーム）」の利用事例の一つとして実施し、プラットフォームを研究開発者へ広く周知することを目指します。また、今後のプラットフォーム開発の参考とするため、参加された研究開発者との意見交換会も実施します。

なお、本取組は、政府のスターダストプログラム（宇宙開発利用加速化戦略プログラム）として間もなく始まる「無人建設革新技術開発推進プロジェクト」（国交省及び文科省）において、各技術開発を進める上で重要な役割を果たすことが期待されています。

実施内容

令和3年11月24日（水）、25日（木）、26日（金）いずれも13:30開始



©2021 Public Works Research Institute

デモンストレーションイメージ

- ・ 自律施工デモンストレーション（約60分、場所：建設DXフィールド）
- ・ 質疑応答・意見交換（約60分、場所：建設DXフィールド）

※実施背景、参加申込要領は別紙参照

問い合わせ先

国立研究開発法人土木研究所

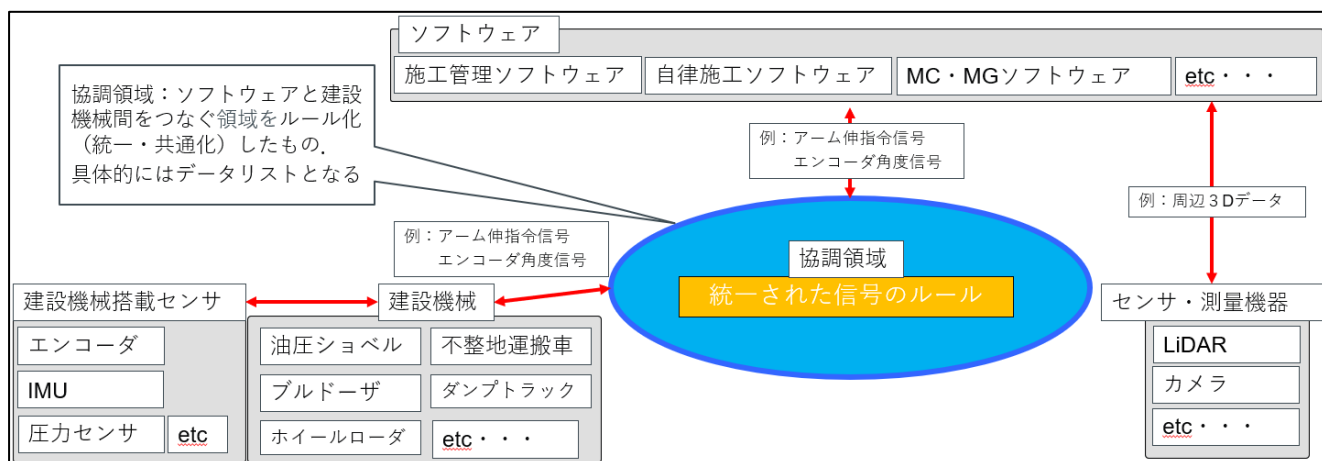
技術推進本部 先端技術チーム 上席研究員 山口 崇
主任研究員 橋本 毅

電話番号 029-879-6757

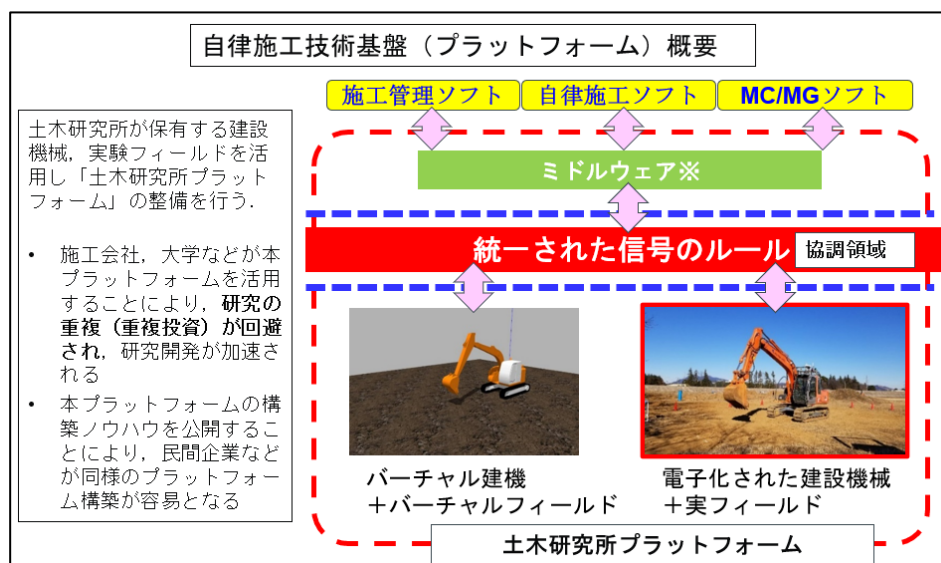
住所 茨城県つくば市南原1-6

実施背景

- 土木研究所では自律施工研究開発の効率化を図るため、協調領域の明確化と、プラットフォームの開発を行っております。
- 土木研究所が考えている協調領域とは、建設機械とソフトウェアがやり取りする信号をルール化することです。これにより研究の重複が防止され、競争領域の明確化による研究開発の加速化が期待されます。
- またプラットフォームとは、上記協調領域、研究開発に必要なフィールド、建設機械（電子制御化された）、それらを再現したシミュレータ、ミドルウェアなどで構成されているもので、様々な研究開発者が利用することで研究開発の加速化が期待されるものです。
- プラットフォーム利用事例の一つとして、油圧ショベルと不整地運搬車による連携作業（掘削・積み込み・移動・放土）についての自律施工デモを行います。本デモにより、「協調領域」「プラットフォーム」の構成と研究開発の利便性向上を広く研究開発者の方々へ知っていただきたいと考えております。
- また、今後の参考とさせていただくため、参加された皆様との意見交換会も実施します。



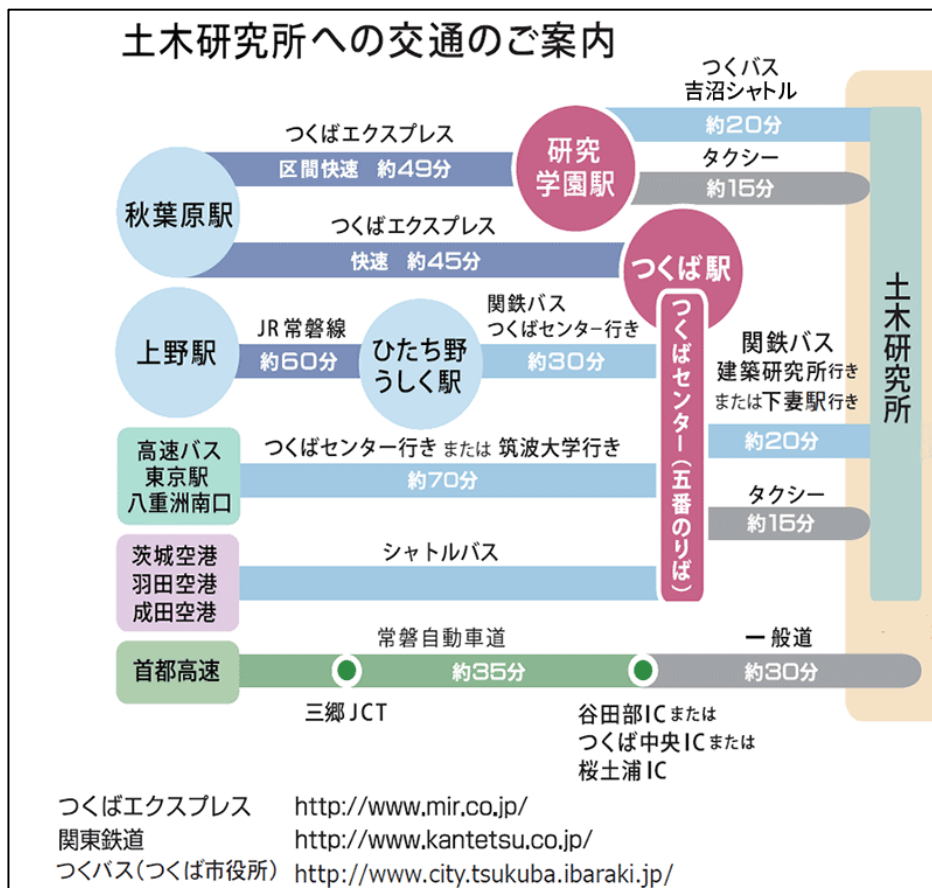
協調領域概略



プラットフォーム概略

その他

- ・ 参加は事前登録とさせていただきます。下記「申込み方法」を参照の上メールにて申し込みください。
- ・ 順延・中止となる場合もございます。その場合は前日 18 時までにはメールにてご連絡差し上げます。
- ・ 土木研究所までの交通手段は以下の通りです。



申込み方法

参加を希望される場合は、以下を記載の上、メールにてご連絡ください。

件名：【参加希望】自律施工デモンストレーション

本文：①氏名（フリガナ）②所属，③連絡先（住所，電話番号，メールアドレス），

④交通手段（車の場合は台数），⑤第一希望日（11月24日~26日いずれか）

⑥第二希望日（11月24日~26日いずれか）⑦第三希望日（11月24日~26日いずれか）

申し込み先：国立研究開発法人土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム 佐藤宛

メールアドレス：sentan(AT)pwri.go.jp

(AT)を@に置き換えて送付ください

申し込み期限：令和3年11月12日（金曜日）18時まで

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**報道関係者は1社1名**、**企業関係者は1社2名**、**大学関係者は1研究室2名**とさせていただきます。

申込時に第一希望日~第三希望日を提示いただき、当方にて振り分けさせていただきます。

また、先着順により参加を制限させていただく場合がございます。